

佐藤忠男氏の御逝去に伴う川崎市長コメント

佐藤忠男氏（本名：飯利忠男氏）の訃報に接し、心からお悔やみ申し上げます。

アジア映画を中心に、知られざる優れた現代映画を発掘・紹介する等、日本を代表する映画評論家である佐藤忠男氏は、平成20年に川崎市文化賞を受賞され、また、平成15年から7期14年間にわたり川崎市市民文化大使に就任いただき、本市のPRや魅力の発信に多大なる御尽力を賜りました。

さらには、日本初の映画の単科大学 日本映画大学 学長に就任されるなど、「映像のまち・かわさき」の推進をはじめ、映像を核にしたまちづくりに尽力されました。

また、川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）は今年14回目を迎えますが、第1回から10年間、実行委員会委員長として、本市の文化芸術の振興に多大な貢献をされました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、心から御冥福をお祈りいたします。

令和4年3月22日

川崎市長 福田 紀彦

〈問合せ先〉

川崎市市民文化局市民文化振興室 田中

電話 044-200-2416